



波長が合う

私の長男が中学生の3年間、毎朝本堂の隅にお祈りしてある韋駄天さまにお水をお供えし、その前で御経の練習をしてから登校していました。陸上部に所属し長距離走をしていたので、韋駄天さまの「足の速さ」にあやかりたいという気持ちがあったのかも知れませんが、それだけではないように思います。宗派等にとらわれず、何か自分と「波長」が合う「神佛」に出会うことができれば、それは大変幸せなことです。では「波長」とは？ 上手に説明できませんが、昔、谷啓さんが「ガチョーン」とギャグした時に心に響き届いたものですかね。…いや違う、これまた失礼しました。と、ずっこけたものです。

幸い、私のお寺も「迷走坊さん」のお寺も歴史が古く、阿弥陀さまの他に地藏さま、観音さま、大日さま、お薬師さま、お稲荷さま、役行者さまに至るまで深い「ガチョーン」をさせていただきます様々なお方をお祈りしています。もしお参りに来ていただければ、その「出会い」のチャンスは多いと思いますし、そんな寺であるよう目標にしています。最近の迷走坊さんの仕事ぶりからもそう思いました。

それら神佛方の場合と同じように、「波長」が合う「御経」と出会うことができれば、これまた「幸せ感」がふくらみます。私の場合、『観音経』と『延命十句観音経』と言えるでしょう。うちの宗派ではあまり馴染みのない御経ですが木魚を叩いていますと「幸せ感」が「びゅん

びゅん！」飛んで来ますので、つついよんでしまいます。『延命十句観音経』は、たった42文字の御経です。江戸時代に白隠禅師が世に広められました。観音さまにラブレターを書いているような御経なので、いつも400字の原稿用紙を持ち歩き、暇があればボールペンで写経しています。いつもの蕎麦屋さんで蕎麦を待っている間に4回かけます。原稿用紙にぴったり8回収まるのも気持ち良いですし、夢中で書いていると、私に足らなかった「祈る力」がついてくる気がします。

今までNHKの大河ドラマは見えていませんでしたが、今年1月に偶然見た折に、次郎法師（後の直虎）の小坊主役の新井美羽ちゃんが余りにもかわいらしくハマッてしまいました。それから間もなくして大人になった次郎法師（柴咲コウさん）が『観音経』の一部を歌のように美しくとなえているシーンと巡り合いました。（※ネットで『次郎法師 観音経』検索で見られます）どこかの宗派の「節」だと思い調べるとNHKがつくったものだとわかりました。その時の柴咲コウさんのフレーズが頭に残っていましたので、翌日ぶっつけ本番で檀家さんの月参りでよんでみました。とても幸せな気持ちで最後までこのフレーズでよむことができました。これも「波長」が合った御経だからだと思います。その読経中、何故だか何年か前に訪れた越中八尾「風の盆」の情景が目に浮かんできました。

年回法要で、「ナムシシンキミョウライ…」あれ、段々下手になるなあ（汗） 俊徳丸